



2024年度 第1四半期決算報告

2024年8月6日

日清食品ホールディングス株式会社

(証券コード：2897)

決算説明会開催日：2024年8月6日

本日のポイント

Point 1 : 2024年度Q1実績

売上収益は前期比+11.2%、既存事業コア営業利益は同+5.1%と、増収増益

➤ **国内即席めん事業 : 増収増益**

日清食品は戦略的なプロモーション効果もあり、レギュラー商品への回帰が前進
明星食品は主要ブランドが好調、商品ミックスの改善などにより、大幅増益着地

➤ **国内非即席めん事業 : 増収増益**

全事業会社において増収、日清ヨーク・湖池屋が増収を牽引。冷凍事業で収益改善進む

➤ **海外事業 : 増収増益**

生産体制強化が進むブラジルや資材価格の低下、米国・アジア・欧州での底堅い需要の捕捉等により、増収増益を確保

Point 2 : 足元の事業環境

➤ 売上収益は計画インライン、既存事業コア営業利益は計画超

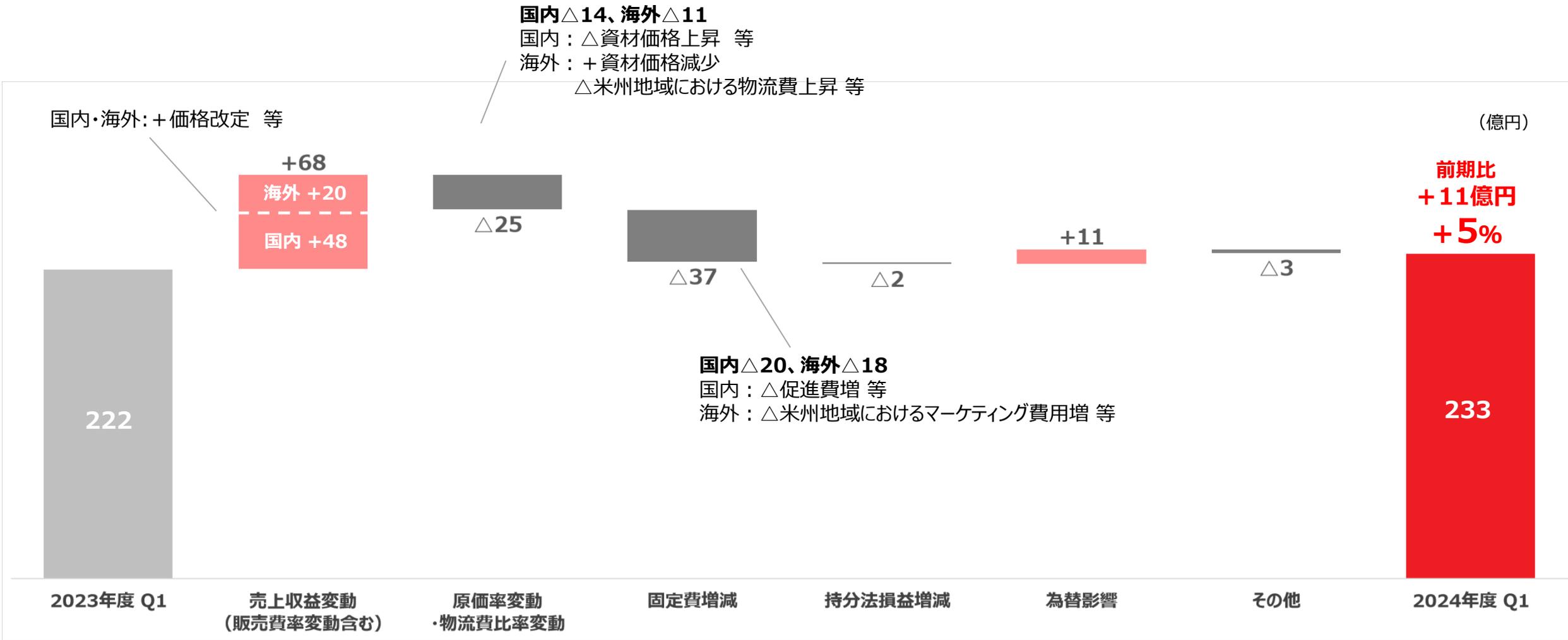
➤ 国内は引き続き市場ニーズにも柔軟に対応しつつ、海外はプレミアム商品の強化を継続

➤ 資材価格については、国内は概ね計画線も今後の為替影響を注視、海外は期初想定比低水準で推移

2024年度 Q1連結決算サマリー

単位：億円	2024年度 Q1 決算開示ベース			2024年度 Q1 為替一定ベース		
	実績	前期比		実績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
売上収益	1,850	+ 186	+ 11.2%	1,778	+ 113	+ 6.8%
既存事業コア営業利益	233	+ 11	+ 5.1%	222	+ 1	+ 0.3%
営業利益	219	+ 10	+ 4.7%	208	△ 1	△ 0.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	159	+ 18	+ 13.1%	151	+ 10	+ 7.5%
既存事業コア営業利益率	12.6%	△ 0.7pt		12.5%	△ 0.8pt	
営業利益率	11.8%	△ 0.7pt		11.7%	△ 0.9pt	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益率	8.6%	+ 0.2pt		8.5%	+ 0.1pt	

既存事業コア営業利益の増減要因



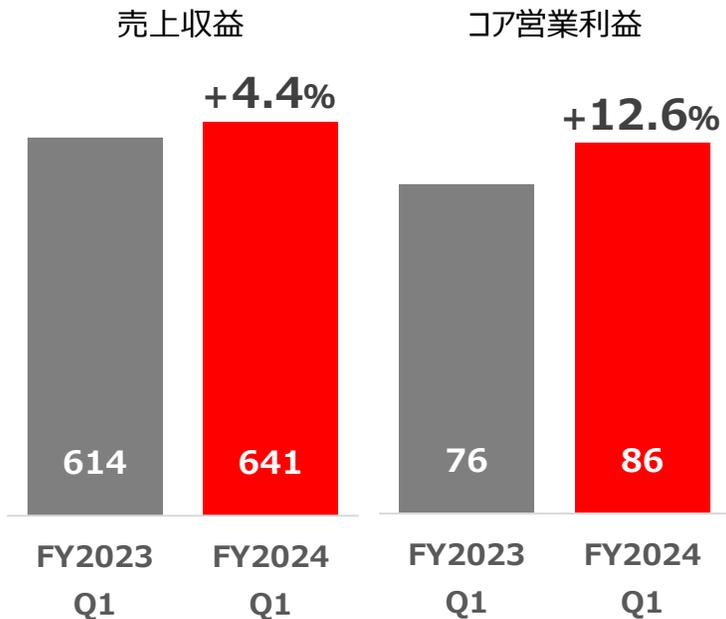
* 細目は前期為替一定ベース
 * 国内その他セグメント、その他連結調整及びグループ関連費用のコア営業利益増減は「その他」に含めて表示

セグメント別 決算サマリー

- 国内事業は増収、10%台の増益。海外事業は増収、為替影響により増益を確保

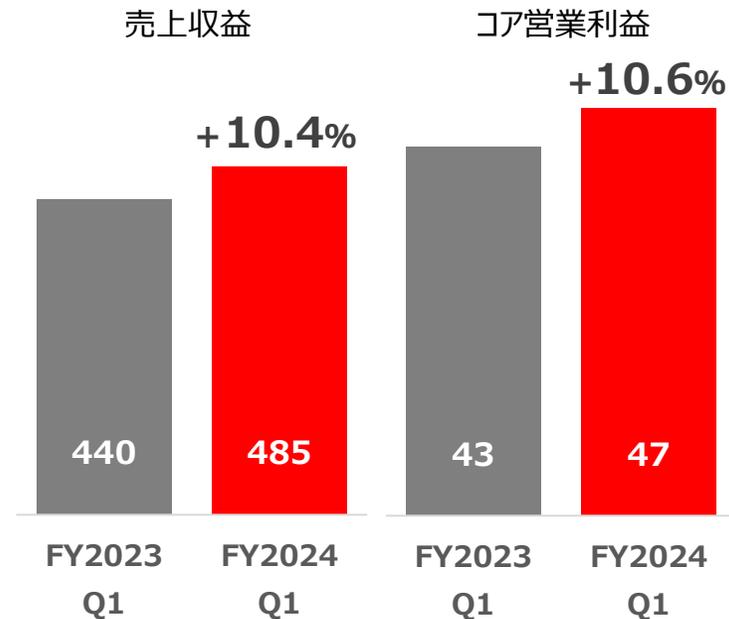
国内即席めん事業

昨年6月実施の価格改定効果に加え、日清食品はレギュラー品への回帰、明星食品は主要ブランド好調を主因に増収。コスト増をカバーし増益



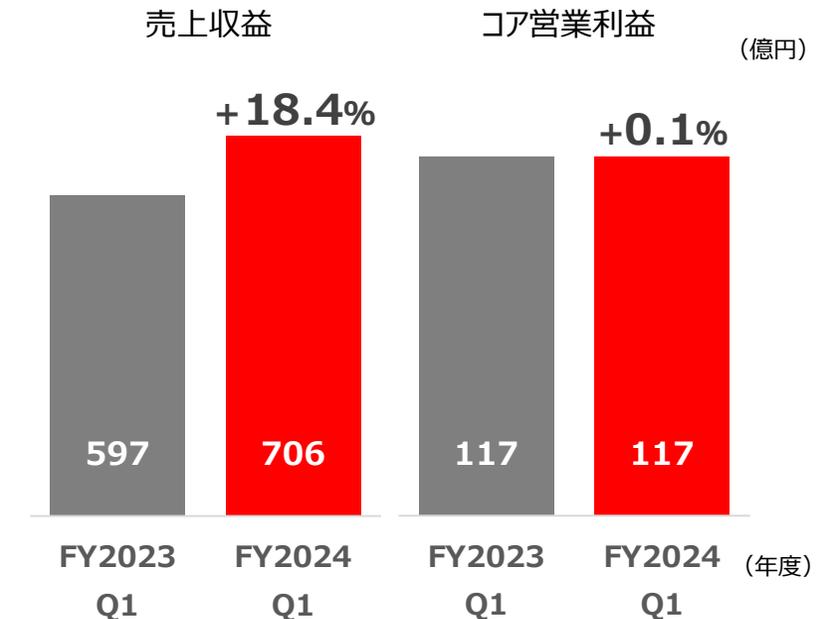
国内非即席めん事業

ヨーク・湖池屋のトップラインが好調。価格改定効果もあり、全事業会社で増収。コスト増をカバーし増益



海外事業

ブラジルの生産体制強化もあり、増収。為替要因もあり、増益確保



セグメント別 売上収益実績

- 国内非即席めんと海外事業が10%台成長により売上を牽引し、連結全体で増収

単位：億円	2024年度 Q1 決算開示ベース			2024年度 Q1 為替一定ベース		
	業績	前期比		業績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	534	+ 19	+ 3.7%	534	+ 19	+ 3.7%
明星食品	108	+ 8	+ 7.9%	108	+ 8	+ 7.9%
国内即席めん事業	641	+ 27	+ 4.4%	641	+ 27	+ 4.4%
低温・飲料事業	255	+ 22	+ 9.7%	255	+ 22	+ 9.7%
菓子事業	231	+ 23	+ 11.2%	231	+ 23	+ 11.2%
国内非即席めん事業	485	+ 46	+ 10.4%	485	+ 46	+ 10.4%
国内その他	18	+ 3	+ 22.1%	18	+ 3	+ 22.1%
国内事業 計	1,144	+ 76	+ 7.1%	1,144	+ 76	+ 7.1%
米州地域	420	+ 75	+ 21.9%	376	+ 32	+ 9.1%
中国地域	165	+ 16	+ 10.8%	148	△ 1	△ 0.5%
アジア地域	60	+ 8	+ 15.5%	55	+ 3	+ 5.7%
EMEA地域	62	+ 10	+ 19.9%	55	+ 4	+ 7.3%
海外事業 計	706	+ 110	+ 18.4%	634	+ 38	+ 6.3%
連結 計	1,850	+ 186	+ 11.2%	1,778	+ 113	+ 6.8%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく
 * 「国内その他」には新規事業も含む

セグメント別 コア営業利益実績

- 国内事業が全体を牽引し、連結全体でMid-single digitでの利益成長

単位：億円	2024年度 Q1 決算開示ベース					2024年度 Q1 為替一定ベース		
	営業利益	その他 収支	コア営業利益	前期比		コア営業利益	前期比	
				増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	76	0	76	+ 5	+ 6.4%	76	+ 5	+ 6.4%
明星食品	10	0	10	+ 5	+ 98.6%	10	+ 5	+ 98.6%
国内即席めん事業	87	1	86	+ 10	+ 12.6%	86	+ 10	+ 12.6%
低温・飲料事業	29	0	29	+ 2	+ 7.0%	29	+ 2	+ 7.0%
菓子事業	16	△ 3	18	+ 3	+ 16.6%	18	+ 3	+ 16.6%
国内非即席めん事業	45	△ 2	47	+ 5	+ 10.6%	47	+ 5	+ 10.6%
国内その他	8	△ 0	8	+ 2	+ 40.7%	8	+ 2	+ 40.7%
国内事業 計	140	△ 2	141	+ 16	+ 13.2%	141	+ 16	+ 13.2%
米州地域	61	△ 0	61	△ 2	△ 3.1%	54	△ 9	△ 13.6%
中国地域	13	△ 0	13	+ 0	+ 3.2%	12	△ 1	△ 6.6%
アジア地域	21	△ 0	21	+ 5	+ 29.0%	20	+ 3	+ 19.6%
EMEA地域	21	△ 0	21	△ 3	△ 12.9%	20	△ 4	△ 18.2%
海外事業 計	117	△ 0	117	+ 0	+ 0.1%	106	△ 11	△ 9.1%
国内・海外事業 計	256	△ 2	258	+ 17	+ 6.9%	248	+ 6	+ 2.4%
その他連結調整	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0	-	△ 0	△ 0	-
グループ関連費用	△ 25	-	△ 25	△ 5	-	△ 25	△ 5	-
既存事業 計	231	△ 2	233	+ 11	+ 5.1%	222	+ 1	+ 0.3%
新規事業	△ 12	△ 0	△ 12	+ 0	-	△ 12	+ 0	-
連結 計	219	△ 2	221	+ 12	+ 5.6%	210	+ 1	+ 0.5%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく

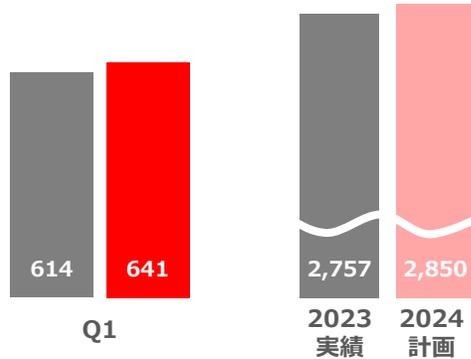
事業の状況

国内即席めん事業

- コアブランドの好調に加えて、新製品が売上に貢献。資材価格等上昇するも増収増益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



日清食品 (Q1 +4%)

カップめん：「カップヌードル」「日清のどん兵衛」「日清焼そば U.F.O.」ブランドの主力商品の売上が堅調に推移。加えて新製品「カップヌードル 和風魚介ぶしカレー」「日清の辛どん兵衛 特盛きつねうどん」「日清焼そば U.F.O.爆盛バーレル」が売上に貢献

袋めん：新商品「日清う王 3食パック」が順調に推移

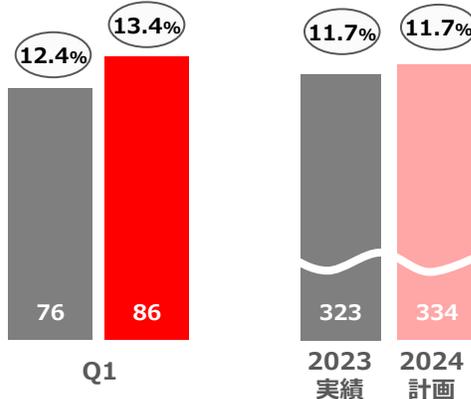
明星食品 (Q1 +8%)

カップめん：「一平ちゃん夜店の焼そば」「ぶぶか油そば」好調、新商品「一杯満足」も貢献

袋めん：「チャルメラ」が好調

コア営業利益 (億円)

%：コア営業利益率



日清食品 (Q1 +6%)

+) 売上増加による利益増

△) 資材価格及び物流費の上昇 等

明星食品 (Q1 +99%)

+) 売上増加による利益増

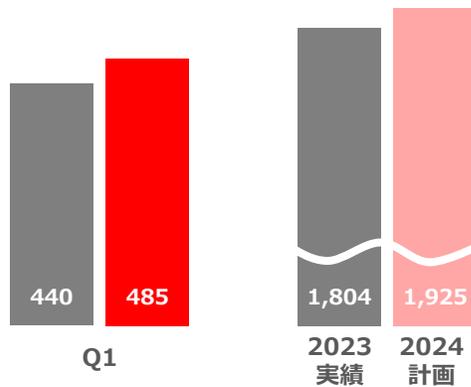
△) 資材価格の上昇 等

国内非即席めん事業

- 「ピルクル400」「十勝のむヨーグルト」が好調であった日清ヨーク、主力商品が引き続き好調であった湖池屋が増収に貢献。一部マーケティング費用増加の影響あるも、事業全体として増益

売上収益 (億円)

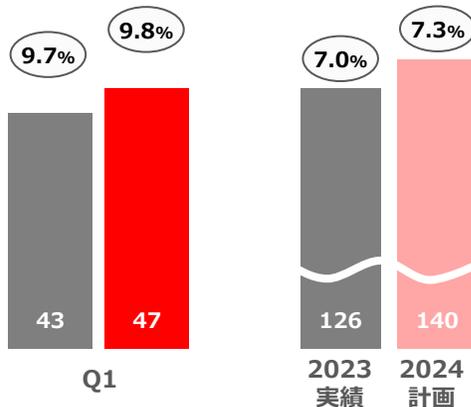
■ 前期 ■ 当期



- チルド** (Q1 +5%) : 新商品「チルド 日清焼そばU.F.O.」貢献、「日清Spa王」喫茶店シリーズや冷し中華群が好調
- 冷凍** (Q1 +5%) : 「冷凍 日清中華」などラーメン、「冷凍 日清もちっと生パスタ」などパスタが好調
- ヨーク** (Q1 +23%) : 「ピルクル400」シリーズ、「十勝のむヨーグルト」シリーズが好調
- シスコ** (Q1 +6%) : 「シスコーン」「ごろグラ」などのシリアルや「ココナッツサブレ」が好調
- ぼんち** (Q1 +6%) : 「ポンスケ」等の商品が堅調に推移
- 湖池屋** (Q1 +14%) : 「湖池屋ポテトチップス」「湖池屋プライドポテト」シリーズが好調

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



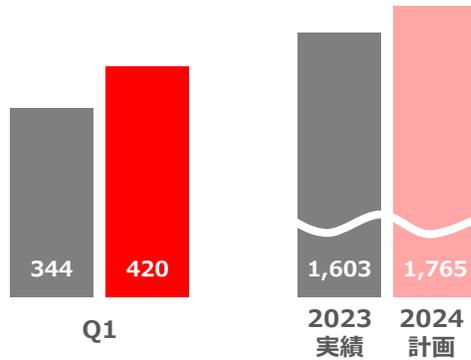
- チルド** Q1 減益 : 売上増加も原価率の上昇により減益
- 冷凍** Q1 増益 : 売上増加により増益
- ヨーク** Q1 減益 : 売上増加もマーケティング費用の増加により減益
- シスコ** Q1 減益 : 売上増加も先行使用したマーケティング費用の増加により減益
- ぼんち** Q1 増益 : 資材価格上昇も売上増加等により増益
- 湖池屋** Q1 増益 : 資材価格等上昇も売上増加等により増益

米州地域

- 高付加価値商品の提案強化・導入推進、ブラジルにおける生産回復もあり増収。費用増加により減益も、Q1計画比増益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



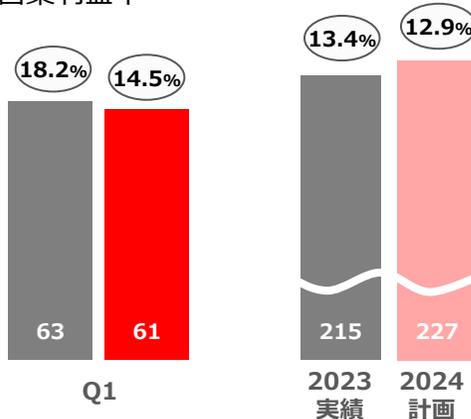
- 米国** : Q1 販売施策の強化により増収(為替影響 +27億円)
- メキシコ** : Q1 流通在庫増や輸出減により減収(為替影響 +7億円)
- ブラジル** : Q1 生産体制強化に伴い生産数量回復。大幅増収(為替影響 +10億円)

4-6月 前期比

	売上収益 (前期為替一定ベース)	数量
米国	+1%	+1桁前半%
メキシコ	△6%	△10%台
ブラジル	+31%	+20%台

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



- 米国** : Q1 減益
労務費・物流費・マーケティング費用増に伴い減益
ただし、Q1社内計画インライン(為替影響 +5億円)
- メキシコ** : Q1 減益
販売数量減により減益(為替影響 +0億円)
- ブラジル** : Q1 増益
生産数量増により大幅増益(為替影響 +1億円)

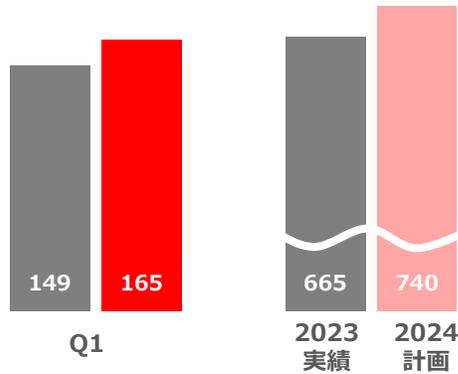
* 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計
* 数量は管理ベースで記載

中国地域

- 香港は消費行動の変化も影響したことで苦戦。一方で大陸のカップめんが売上を牽引し、増収増益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



香港他 : Q1 袋めんの販売数量は回復傾向、為替影響により増収 (為替影響 +8億円)

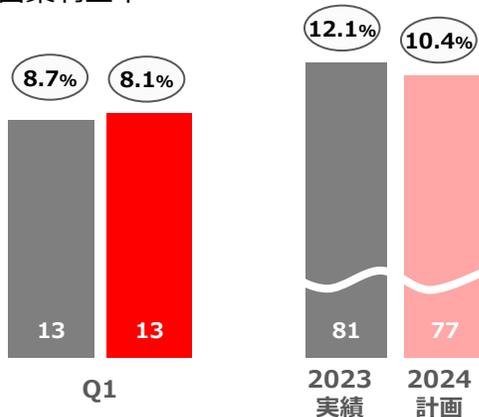
大陸 : Q1 販売数量増に伴い増収 (為替影響 +9億円)
主力のカップめんの販売数量は新規開拓もあり改善

4-6月 前期比

	売上収益 (前期為替一定ベース)	数量*
香港他	△9%	△1桁前半%
大陸	+5%	+1桁半ば%

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



香港他 : Q1 減益

販売数量減により減益 (為替影響 +0億円)

大陸 : Q1 増益

カップめんの販売数量増に伴い増益 (為替影響 +1億円)

* 数量は香港・大陸の管理ベースで記載
** 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づくもの
*** 香港他にはベトナム事業等を含む

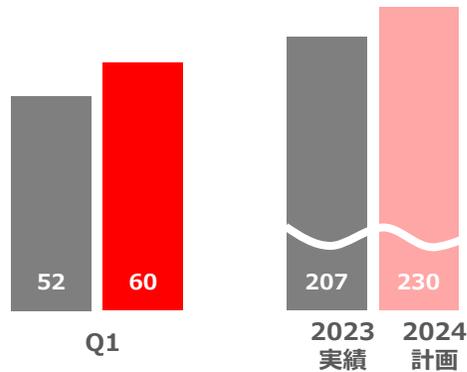
アジア地域

- 持分法損益も貢献し、アジア全体で増収増益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期

売上額が多い順



- インド : Q1 増収 (為替影響 +2億円)
- タイ : Q1 増収 (為替影響 +1億円)
- シンガポール : Q1 増収 (為替影響 +1億円)
- インドネシア* : Q1 増収 (為替影響 +0.3億円)

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率

利益額が多い順 (持分法適用会社除く)



- タイ : Q1 横ばい (為替影響 +0.2億円)
- シンガポール : Q1 減益 (為替影響 +0.2億円)
- インドネシア* : Q1 減益 (為替影響 +0.0億円)
- インド : Q1 減益 (為替影響 +0.0億円)

* 持分法損益含まないコア営業利益率



持分法による投資損益

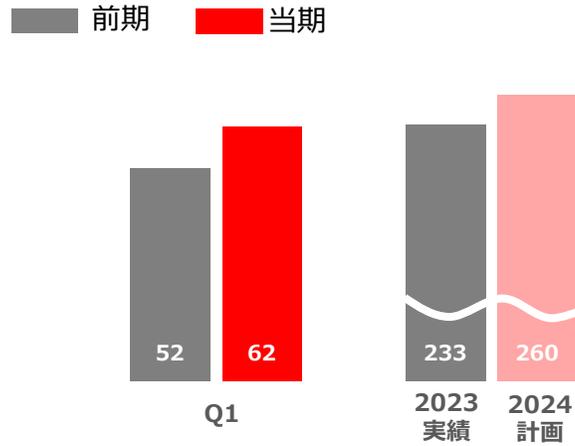
- タイプレ : Q1 10億円 (前期比:+3億円 (為替影響 +0.6億円))
- NURC : Q1 5億円 (前期比:+2億円 (為替影響 +0.5億円))

* マレーシア事業含む

EMEA地域

- 成長著しい即席めん市場において、増収トレンド継続

売上収益 (億円)



欧州 : Q1 増収

- 「Soba」「Demae Ramen」ブランドが引き続き好調に推移
- イギリスを中心に増収 (為替影響 +6 億円)

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



欧州 : Q1 増益

売上増により増益 (為替影響 +0億円)

持分法による投資損益

- マルベン : Q1 6億円 (前期比:△5億円 (為替影響△1億円))
- プレミアフーズ : Q1 11億円 (前期比:+1億円 (為替影響 +2億円))

* 持分法損益含まないコア営業利益率



Appendix

2024年度 通期連結業績計画

- 売上収益は2023年度比+7.1%、既存事業コア営業利益は2023年度比+5.0%、846億円を計画
- 売上収益、各段階利益とも過去最高更新を目指す

売上収益	7,850 億円	2023年度比 +7.1%
------	----------	------------------

Mid-single Digitでの成長を継続

既存事業コア営業利益	846 億円	+5.0%
------------	--------	-------

新規事業投資を既存事業コア営業利益5~10%で実施

営業利益	760 ~ 800 億円	+3.6~+9.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	545 ~ 575 億円	+0.6~+6.1%
EPS	179 ~ 189 円/株	

* 計画に係る円表示数値は全て23年度実績レート

2024年度 セグメント別計画

(単位：億円)	2024年度 予想	売上収益 (IFRS)				コア営業利益 (Non-GAAP)			
		2023年度		2023年度比	2024年度 予想	2023年度		2023年度比	
		売上収益				コア営業利益			
日清食品	2,415	2,322	+ 93	+ 4.0%	305	295	+ 10	+ 3.2%	
明星食品	435	435	+ 0	+ 0.1%	29	27	+ 2	+ 5.9%	
即席めん事業	2,850	2,757	+ 93	+ 3.4%	334	323	+ 11	+ 3.4%	
低温・飲料事業	1,010	952	+ 58	+ 6.1%	85	77	+ 8	+ 10.4%	
菓子事業	915	852	+ 63	+ 7.5%	55	49	+ 6	+ 11.5%	
非即席めん事業	1,925	1,804	+ 121	+ 6.7%	140	126	+ 14	+ 10.8%	
国内その他	80	61	+ 19	+ 31.5%	9	△ 21	+ 30	-	
国内 計	4,855	4,621	+ 234	+ 5.1%	483	428	+ 55	+ 12.9%	
米州地域	1,765	1,603	+ 162	+ 10.1%	227	215	+ 12	+ 5.4%	
中国地域	740	665	+ 75	+ 11.4%	77	81	△ 4	△ 4.4%	
アジア地域	230	207	+ 23	+ 11.0%	71	66	+ 5	+ 8.3%	
EMEA地域	260	233	+ 27	+ 11.6%	87	95	△ 8	△ 8.9%	
海外 計	2,995	2,708	+ 287	+ 10.6%	462	457	+ 5	+ 1.1%	
国内・海外 計	7,850	7,329	+ 521	+ 7.1%	945	885	+ 60	+ 6.8%	
その他連結調整	-	-	-	-	△ 99	△ 0	△ 20	-	
グループ関連費用	-	-	-	-		△ 78			
既存事業 計	7,850	7,329	+ 521	+ 7.1%	846	806	+ 40	+ 5.0%	
新規事業	-	-	-	-	△ 80	△ 62	△ 18	-	
					~ △ 40		~ + 22	-	
連結 計	7,850	7,329	+ 521	+ 7.1%	766	744	+ 22	+ 2.9%	
					~ 806		~ + 62	~ + 8.3%	

* 中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績計画数値は、日清食品HDが独自に設定したものの

米州地域および海外地域全体の売上収益・数量 前期比

ベース商品 : +1桁前半%
プレミアム商品 : +10%台

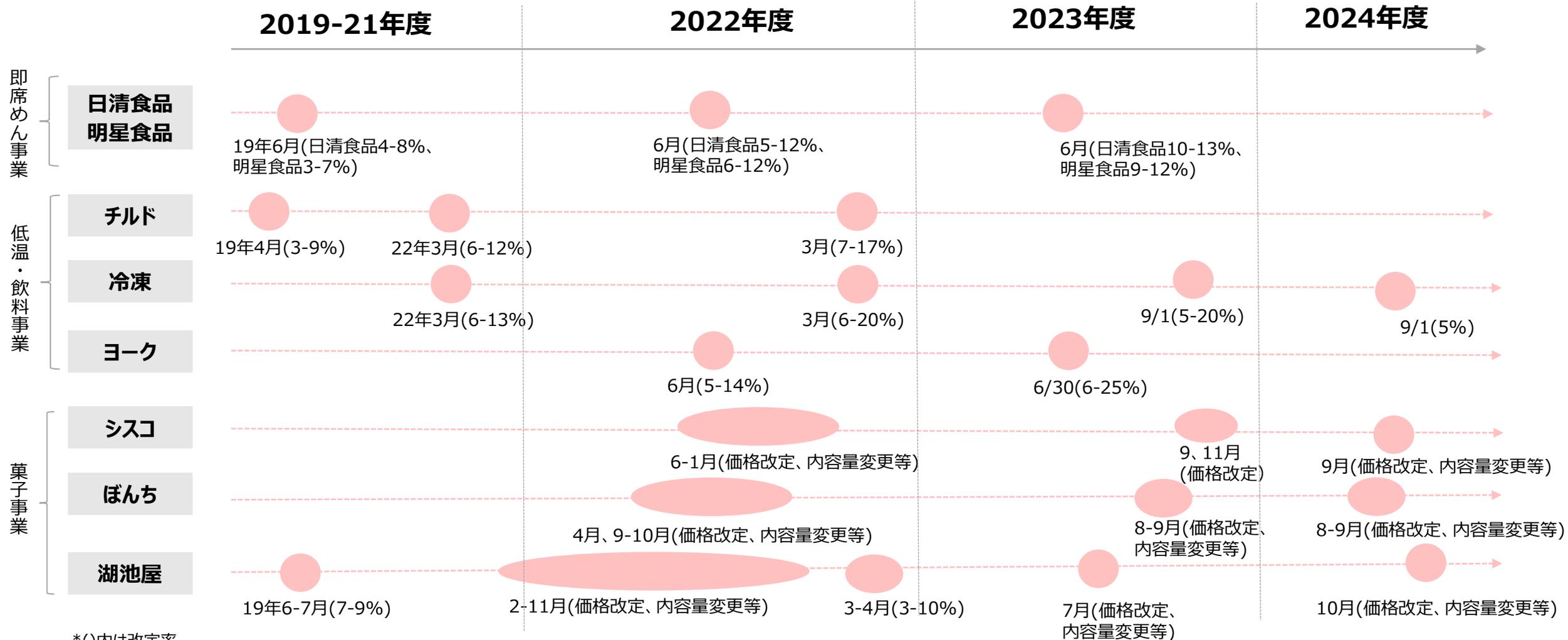
2023年度

2024年度

前年比	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月		4-6月		2024年度 通期計画	
	売上収益 前期為替一定 ベース	数量										
米国	+27%	△1桁後半%	+5%	△1桁前半%	△1%	+1桁前半%	+0%	+1桁後半%	+1%	+1桁前半%	+1桁半ば%	+1桁半ば%
メキシコ	+13%	+1桁前半%	+29%	+2桁前半%	+19%	+2桁前半%	+14%	+2桁前半%	△6%	△10%台	+10%台	+10%台
ブラジル	△19%	△2桁前半%	+5%	△1桁前半%	+2%	△1桁後半%	△2%	△2桁前半%	+31%	+20%台	+10%台	+10%台
海外全体	+5%	△2桁前半%	+6%	△1桁前半%	△0%	△1桁前半%	+1%	横ばい圏	+6%	+1桁後半%	+11%	+10%台

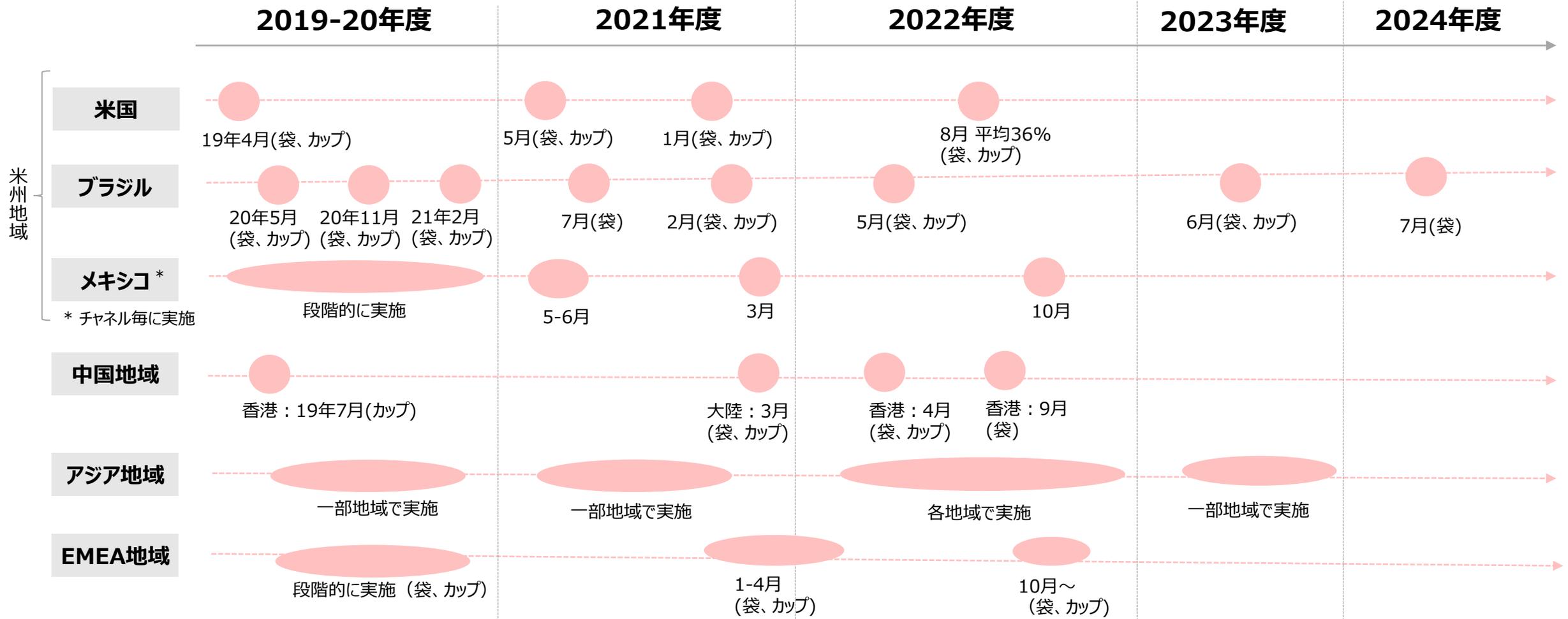
* 数量は管理ベースで記載
* 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計

主な価格改定推移 (国内)



*()内は改定率
*2024年8月時点

主な価格改定推移 (海外)



*2024年8月時点

本資料に掲載しております当社グループの計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきください。

また、本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさっていただきますようお願い申し上げます。

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ウェブサイト「決算短信・補足資料・決算説明会関連資料」に掲載しています
<https://www.nissin.com/jp/ir/library/>
- この資料の金額は、千円単位で算出し、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が一致しない場合があります
- 当該資料の決算期は原則として、20YY年4月1日からの1年間を「20YY年度」または「YY年度」とします
- 中国地域の実績は、日清食品ホールディングス連結の方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります。また、中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績予想は日清食品ホールディングスが独自に設定したものです



日清食品ホールディングス株式会社